

付着生物ラーバ情報

小さいサンカクフジツボは 落ち易いので早めに分散作業を

1 ラーバの出現状況

ラーバの調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

(1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバが9月17日に久栗坂沖で3.3個体/m³、川内沖で1.6個体/m³見られました(表1、図2、3)。

(2) ユウレイボヤ

ラーバは見られていません(表1)。

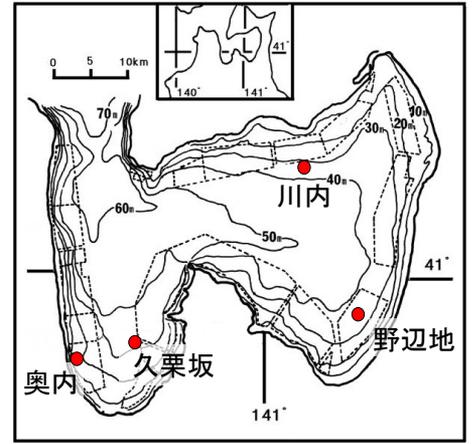


図1 ラーバ調査地点

2 今後の見込み

(1) サンカクフジツボ

付着直前のラーバ(図2)の出現数は少ない状況です(図3)。

殻長1mm未満の小さいサンカクフジツボは稚貝分散時に選別機を用いることで約7割落ちることが分かっているので(図4)、付着個体が小さいうちに分散作業を進めましょう。

表1 ラーバ等の出現状況 単位: 個体/m³

調査地点	調査月日	サンカクフジツボ	ユウレイボヤ
久栗坂沖	R3.9.17	3.3	0.0
川内沖	R3.9.17	1.6	0.0

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

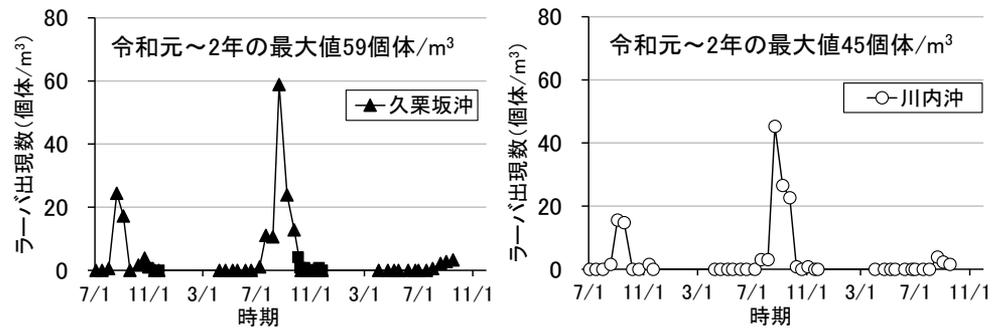


図3 サンカクフジツボラーバ出現数の推移(令和元年7月~令和3年9月)



図2 付着直前のサンカクフジツボラーバ(キブリス幼生)

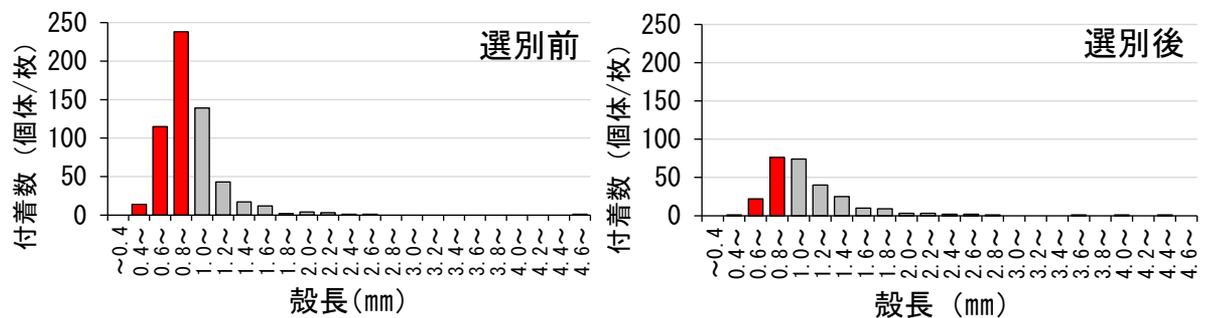


図4 令和2年9月の久栗坂沖における選別前後の稚貝1枚に付着したサンカクフジツボの付着数(左は選別前、右は選別後)

(2) ユウレイボヤ

現在、陸奥湾内の中層の水温は22℃前後となっています。ユウレイボヤは水温20℃以下で産卵するので、10月以降に本格的なラーバの出現と付着が始まるものと思われます。

